東アジア平和協力研究センター

Center for East Asian Peace and Cooperation

関西・京都から独自の視点で東アジアを巡る問題に切り込み 東アジア研究の世界的な拠点の構築を目指す

著しい経済成長とともに世界で存在感を高める中国、近年活発な動向を見せる朝鮮半島など、東アジア情勢は今、日本のみならず世界からも注視されています。そうした状況にあって、東アジアの平和と協力に関わる重要な問題について質の高い研究を行うため、2019年、東アジア平和協力研究センターが発足しました。

東京を中心とした首都圏に対し、関西地域、とりわけ京都に位置するところが本センターの強みの一つです。京都は、長い歴史と文化を有する国際都市であると同時に多くの大学が集積する学術都市です。哲学・歴史学など人文学に関する学術研究の豊かな素地があります。中でも立命館大学は、これまで朝鮮半島や中国、東アジアの国際関係について、人文学・社会科学の両面から世界的な研究実績を重ねてきました。そうした特性を生かし、独自の視点で国際的かつ地域的な問題を扱うとともに、東アジアとアメリカ合衆国、ヨーロッパにおけるカウンターパートと対話を重ねることで、質の高い研究成果を着実に挙げていきます。

本センターが、日本はもとより世界に冠する研究拠点として認知度を高めていくために、研究活動と並行して力を注いでいるのが情報発信です。本センターのウェブサイト内コンテンツ“EXPERT ANALYSIS”では、アメリカ合衆国や韓国、日本において、東アジア研究で世界的に著名な実務家・研究者・ジャーナリストの寄稿を定期掲載しています。また、これまでの研究成果を下地に複数の叢書の発刊を計画中です。

さらにアジアやアメリカ合衆国、ヨーロッパにおける東アジア外交や同分野の研究者を招いた国際シンポジウムも開催しています。今後も研究メンバーの国際ネットワークを活用しながらグローバルに研究や情報交換を進めていきます。

それに加えて、若手研究者の育成にも取り組んでいます。本センターで蓄積した研究のリソースを生かし、学内の隣接研究領域の他センターと協力しながら次代の東アジア研究を担う国内外の若手研究者をネットワーク化しようとしています。ワークショップなどを開催し、若手研究者の発表や研究の拠りどころとしても機能させるべく準備しています。

これからさらに多様な研究活動と情報発信を通じ、東アジアに関する世界的なシンクタンクと肩を並べる拠点を目指し、発展していきます。

学術会議・セミナー

- 呉泰奎氏講演会「韓日関係と関西」
- Recent Situation in North Korea and Prospects for Inter-Korean Relations
- Recent Trends of North Korea
- The North Korean Nuclear Negotiation Process and the Search for New Models
- Prospect for Northeast Asian Order and South Korea's Response after the Outbreak of Covid-19

アーカイブ（専門家コラム例）

- アジアインサイト
  ベルリンの慰安婦像で思うこと
  さらなる関係悪化を招いた日韓両政権の過ち
- Washington Report
  Peace Building on the Korean Peninsula
  Biden and East Asia: The Company One Keeps
- North Korea Watch
  Changes in Kim Jong Un's Leadership Style in 2020 and Prospects for 2021
- Kim Jong Un Speech at the Military Parade: Thanking the People while Forewarning Arduous March

主な研究テーマ

- 米中戦略競争と東北アジアの秩序
- 東アジア安全保障環境の変化と朝鮮半島の未来
- 近年の北朝鮮情勢と南北関係の展望
- 北朝鮮非核化交渉と日米韓の未来
- 日韓関係とジャーナリズムの役割
- 韓国の対日政策の方向転換
- U.S.-ROK-Japan Trilateral Cooperation and the North Korean Nuclear Crisis
- A Networked Strategic Competition between the US and China After the US Presidential Election in 2020
- A Networked Indo-Pacific and Future of East Asian Security

センター長：中戸 祐夫（国際関係学部 教授）
主な研究拠点：衣笠キャンパス
お問い合わせ：立命館大学研究部リサーチオフィス（衣笠） TEL：075-465-8236 FAX：075-465-8342
✉：c-eapcs@st.ritsumei.ac.jp http://www.ritsumei.ac.jp/research/ceapc/